

## (2) 予察情報－3 月報

### 4 月月報(令和2年5月21日)

---

#### 1 作物生育概況

##### (1) 野菜類

果菜類：促成、半促成トマトの生育は概ね順調であった。スイートコーンは晩霜害の影響もなく概ね順調であった。

葉菜類：キャベツの生育は概ね順調であった。コマツナ、ノラボウナの生育は早まる傾向であった。

根菜類：コカブの生育は概ね順調であった。

イモ類：ジャガイモの生育は概ね順調であった。

##### (2) 果樹

ナシ：東京都農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。全ての品種で、開花始期及び開花盛期は7～10日早くなった。

新高：開花始	3月27日（－10日）	開花盛	4月2日（－8日）
稲城：開花始	3月27日（－10日）	開花盛	4月2日（－9日）
幸水：開花始	4月4日（－8日）	開花盛	4月8日（－7日）
豊水：開花始	4月1日（－9日）	開花盛	4月6日（－8日）

##### (3) 茶樹

1月は気温が高く暖冬傾向だったが、2月以降極端に気温が低い日が数回あったこと、その後4月は昨年より平均気温が約1℃低かったため茶樹の芽の伸びは昨年並みとなり、摘採最盛期は5月中旬頃の見込みである。

#### 2 病害虫の発生概況

##### (1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハマキムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ <発生時期：並 発生量：並>

##### (2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
---------	-------	-----------

##### (3) 野菜の病害虫

トマト（施設）

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ (施設)		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ (露地)		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ (施設)		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少であった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
クローバーハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

#### (4) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 植木の病害虫

ケヤキのケヤキヒゲマダラアブラムシの発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類でハモグリバエ類の発生が多かった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ <誘殺なし>

ウリミバエ <誘殺なし>

ミカンコミバエ種群 <誘殺なし>

コドリンガ <誘殺なし>

# 5 月月報(令和 2 年 6 月 2 2 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) 野菜類

果 菜 類 : 施設トマトでは奇形果 (乱形果・窓あき) の発生が多かった。スイートコーン、エダマメ、露地キュウリ等の生育は順調であった。

葉根菜類 : ホウレンソウ、コマツナ等は生育が早かった。タマネギ、ネギで抽苔の発生が多く確認された。

イモ類 : 区部及び西多摩の一部地域では、ジャガイモ夏疫病の影響により、生育が芳しくなかった。

### (2) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場 (灰色低地土) におけるカキ主要品種の開花期と平年差 (カッコ内) は以下のとおりであった。平核無の開花始期は平年並み、その他の品種は開花始期及び開花盛期ともに、2~5日早かった。

平 核 無 : 開花始 5 月 13 日 (±0 日)、開花盛 5 月 15 日 (-2 日)

東 京 紅 : 開花始 5 月 16 日 (-2 日)、開花盛 5 月 17 日 (-4 日)

次 郎 : 開花始 5 月 17 日 (-2 日)、開花盛 5 月 19 日 (-3 日)

松本早生 : 開花始 5 月 18 日 (-4 日)、開花盛 5 月 20 日 (-5 日)

### (3) 茶樹

摘採は5月連休明けから始まり、5月末でもまだ終了していない農家もあった。生葉収穫時期については寒暖差が大きく、早生品種では、畑により例年と比較して遅れが見られた。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< やや少 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はともにやや少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	発生はやや多かった。

### (2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### (3) 野菜の病害虫

#### ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

#### トマト (施設・半促成)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### キュウリ

褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

#### ナス

アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### コマツナ

白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

#### ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

#### イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

#### ネギ

さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

#### キャベツ

菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンシロチョウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(4) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 植木の病害虫

ツバキ・サザンカ

チャドクガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
-------	---------	------------

ケヤキ

ケヤキヒゲマダラアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
---------------	-------	-----------

(6) 島しょの病害虫

三宅島：アシタバでヒメヨコバイ類の発生がやや多かった。野菜類全般でハモグリバエ類の発生が多かった。

八丈島：サヤエンドウでうどんこ病、サトイモでアブラムシ類の発生が多かった。それ以外の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

### 3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリंगा	< 誘殺なし >

# 6 月月報(令和 2 年 7 月 1 7 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) イネ

田植えは6月上旬までに終了した。

### (2) 野菜

果 菜 類 : 施設トマトの生育は順調であったが、露地トマトは梅雨入り以降、裂果が多かった。露地キュウリ、ナスでは雨の影響により、生育は緩やかであった。

葉根菜類 : 全般的にやや軟弱に生育しているが比較的順調であった。

イモ類 : サトイモは生育が遅かった。サツマイモの生育は順調であった。

### (3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土・露地)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下のとおりであった。全ての品種で開花始・盛期は平年より1~2日遅かった。

巨 峰 : 開花始5月29日(+2日)、開花盛6月1日(+2日)

安芸クイーン : 開花始5月29日(+2日)、開花盛6月1日(+2日)

高 尾 : 開花始5月27日(+2日)、開花盛5月29日(+1日)

### (4) 茶樹

生育は概ね順調であった。

## 2 病虫害の発生概況

### (1) イネの病虫害

いもち病(苗)	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

### (2) 果樹の病虫害

#### ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
シンクイムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

#### 果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< 並 >	予察灯における誘殺数は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
----	-------	-----------

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。

ナス

アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

スイートコーン

アワノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
--------	---------	-------------

ネギ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
さび病	< 多 >	発生は多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------



(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ

<やや多>

発生はやや多かった。

(7) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類でハモグリバエ類の発生が多かった。アシタバでヒメヨコバイ類、ナメクジ類の発生が多かった。

小笠原：オクラ、ナスでフタテンミドリヒメヨコバイの発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類侵入警戒調査

チチュウカイミバエ

<誘殺なし>

ウリミバエ

<誘殺なし>

ミカンコミバエ種群

<誘殺なし>

コドリンガ

<誘殺なし>

# 7 月月報(令和 2 年 8 月 2 5 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) イネ

生育はおおむね順調であった。

### (2) 野菜類

果 菜 類：長雨と日照不足の影響により、ナスとキュウリは生育が悪く、トマトは着色が遅れ、インゲンには曲がりが多く見られた。また、キュウリは例年より早く栽培が終了した。スイートコーンは生育が遅れ、穂重は少なく、先端不稔が多かった。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリーの苗の生育はやや徒長気味であった。

イ モ 類：サトイモの生育は順調であった。

### (3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：降雨により肥大は順調だったが、日照不足の影響で例年よりも緩慢な着色だった。

### (4) 茶樹

降水量が多く生育は順調であった。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) イネの病害虫

いもち病(平野部)	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病(山間部)	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### (2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

### (7) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類全般でコナジラミ類、アシタバでヒメヨコバイ類の発生が多かった。

八丈島：キュウリでべと病の発生が多かった。

小笠原：オクラとナスでフタテンミドリヒメヨコバイの発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

### 3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリंगा	<誘殺なし>

# 8 月月報(令和 2 年 9 月 2 5 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) 野菜類

果菜類：8月の高温、強日照によりトマトは日焼け、割れ、尻腐れ果が多かった。キュウリは、先細り、曲がり、くびれ果が多かった。エダマメは7月の日照不足が影響し、収量がやや少なかった。トウモロコシは果実が小ぶりで、先端不稔の発生がやや多い傾向であった。

葉菜類：高温と乾燥の影響により、コマツナの播種やキャベツ、ブロッコリーの定植が遅れ気味であった。コマツナでは株の不揃いや葉焼け等の生育不良が見られた。

根菜類：8月播種のニンジンで発芽不良や遅れが見られ、播種をやり直した圃場もあった。八王子ショウガは収穫が始まり、サイズがやや小ぶりであった。

イモ類：サトイモは高温と乾燥による葉焼け、萎れが激しく見られた。

### (2) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場(灰色低地土)における主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおりであった。

ブドウ:収穫始めは、‘高尾’で1日早くなった。

‘高尾’収穫始 8月 21 日(-1日)

ナシ:収穫始めは‘幸水’で8日、‘秀玉’で3日早く、‘稲城’で2日遅くなった。

‘幸水’収穫始 8月 7 日(-8日)

‘稲城’収穫始 8月 26 日(+2日)

‘秀玉’収穫始 8月 24 日(-3日)

### (3) 茶樹

乾燥の影響により、新芽の伸長が悪かった。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

## (2) 果樹の病害虫

### ナシ

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

### 果樹共通

カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

## (3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや多 >	発生はやや多かった。

## (4) 野菜の病害虫

### キュウリ

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

### ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

### サトイモ

ワタアブラムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。

### 野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハイマダラノメイガ <やや多> 発生は一部圃場でやや多かった。  
カメムシ類 <やや少> 発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ

<やや少> 発生はやや少なかった。

アザミウマ類

< 少 > 発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

モンクロシヤチホコ

< 並 > 発生は平年並であった。

(7) 島しょの病害虫

八丈島：キュウリでハダニ類の発生が多かった。

小笠原：オクラとナスでフタテンミドリヒメヨコバイの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ

<誘殺なし>

ウリミバエ

<誘殺なし>

ミカンコミバエ種群

<誘殺なし>

コドリंगा

<誘殺なし>

# 9 月月報(令和 2 年 1 0 月 2 2 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) イネ

中下旬から稲刈りが始まった。収穫時期は平年並であった。

### (2) 野菜

果菜類：キュウリは定植後の高温による葉焼け症が見られた。イチゴの定植期はほぼ平年並であった。

葉菜類：コマツナ、チンゲンサイはカップング症状が多かった。

イモ類：秋ジャガイモの発芽が悪かった。

### (3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：収穫終わりは、‘巨峰’で9日早くなった。

‘巨峰’ 収穫終 9月11日（-9日）

ナシ：

収穫終わりは、‘秀玉’は平年並、‘豊水’で5日早く、‘稲城’で2日遅くなった。

‘秀玉’ 収穫終 9月7日（±0日）

‘豊水’ 収穫終 9月11日（-5日）

‘稲城’ 収穫終 9月11日（+2日）

### (4) 茶樹

8月の乾燥及び9月の多雨により、秋芽生育が遅かった。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) イネの病害虫

いもち病	< 並 >	発生は概ね平年並であったが、一部圃場でやや多かった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< やや多 >	予察灯における誘殺数はやや多かった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。



(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシクイ	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ (施設)

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
トマトハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< 多 >	発生は多かった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 並 >	発生は概ね平年並であったが、一部圃場で多かった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ニンジン

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

庭木及び街路樹

チャドクガ	< 並 >	発生は平年並であった。
モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

多発生の病害虫は認められなかった。

### 3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリंगा	<誘殺なし>

# 10月月報(令和2年11月19日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) イネ

収穫時期は平年並となり、中旬には収穫がおおむね終了した。収量、品質は平年並であった。

### (2) 野菜

果菜類：ハウス抑制キュウリはおおむね順調であった。一部の圃場で葉焼け等の障害が見られた。トマトは育苗中や植え付け準備中のほ場が多かった。露地ナス、ピーマンはほぼ収穫が終了した。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウは曇雨天の影響で、葉色がやや淡く、徒長気味で生育もやや遅れていたが、10月後半の天候回復により生育は改善した。キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ハクサイは生育がやや遅れ気味であるが、おおむね良好であった。

いも類：サトイモとサツマイモの収穫が始まった。サトイモは夏の乾燥が影響し、小ぶりなものが多かった。サツマイモは平年に比べ収量が少なかった。

### (3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

カキ：収穫始めは平年と比べ‘早秋’で4日、‘太秋’で16日早く、‘伊豆’で3日、‘甘秋’で1日遅かった。収穫終わりは平年と比べ‘早秋’で6日、‘太秋’で13日、‘伊豆’で4日早く、‘甘秋’は平年並であった。

‘早秋’ 収穫始 9月28日（－4日） 収穫終 10月7日（－6日）

‘太秋’ 収穫始 9月28日（－16日） 収穫終 10月19日（－13日）

‘伊豆’ 収穫始 10月12日（＋3日） 収穫終 10月19日（－4日）

‘甘秋’ 収穫始 10月15日（＋1日） 収穫終 10月28日（±0日）

ナシ：収穫終わりは‘新高’で平年より9日早かった。

‘新高’ 収穫終 9月30日（－9日）

## 2 病虫害の発生概況

### (1) 野菜の病虫害

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー		
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少であった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイコン・ハクサイ		
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハコベハナバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
イチゴ		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

## (2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

新 島：アシタバでアブラムシ類の発生が多かった。一部のほ場でトマトうどんこ病の発生が多かった。

神津島：アシタバでアブラムシ類の発生が多かった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリンガ	<誘殺なし>

# 1 1 月月報 (令和 2 年 1 2 月 1 8 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) 野菜

果 菜 類：施設の果菜類（トマト、キュウリ、イチゴ）は概ね順調であった。気温が高い日が続いたため、11月においても露地のナスやピーマンの収穫が続いた。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウ、ブロッコリー、ダイコン等は生育が進み出荷が早まった。

い も 類：サトイモ、サツマイモは、寒さによる葉の傷みは見られなかった。ニンジンも播種期の高温等による影響で、根部の割れが多かった。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) 野菜の病害虫

#### トマト（施設・抑制）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

#### キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー

黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### コマツナ

白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

#### ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
(2) 花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
(3) 島しょの病害虫		
新 島：野菜類でヨトウムシ類の発生が多かった。		
式根島：野菜類でヨトウムシ類の発生が多かった。		
神津島：野菜類でヨトウムシ類の発生が多かった。		
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。		

### 3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリンガ	< 誘殺なし >



# 1 2 月 月 報 (令和 3 年 1 月 2 7 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) 野菜

果 菜 類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：キャベツ、コマツナ、ホウレンソウは 12 月前半の生育は早かったが、後半は乾燥と低温の影響で生育が停滞した。

根 菜 類：12 月後半の乾燥と低温で全般的に生育が遅れた。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
疫病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

### (2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

### (3) 島しょの病害

八丈島：ブロッコリーでヨトウムシ類、キュウリでべと病の発生が多かった。

小笠原：トマトで葉かび病の発生がやや多かった。

# 1 月月報(令和3年2月19日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) 野菜類

果菜類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）の生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナやハウレンソウは低温と乾燥の影響により生育が遅延した。ネギの生育は概ね順調であった。

根菜類：ダイコンは凍害による葉の傷みが見られた。カブは低温と乾燥の影響により生育が遅延した。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) 野菜の病害虫

#### トマト（施設）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### コマツナ（施設）

コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### ハウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### イチゴ（施設）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

### (2) 花きの病害虫

#### 花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### (3) 島しょの病害虫

八丈島：カキナでウワバ類及びヤサイゾウムシ（幼虫）の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 2 月月報(令和3年3月25日)

---

### 1 作物生育概況

#### (1) 野菜類

果 菜 類：施設栽培のトマト及びイチゴの生育は概ね順調であった。

葉根菜類：コマツナは一部でとう立ちが見られた。キャベツ苗の生育は概ね順調であった。ネギは一部の地域において、寒さによる葉の傷みが見られた。

### 2 病害虫の発生概況

#### (1) 野菜の病害虫

##### トマト（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

##### コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

##### ハウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

##### イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 多 >	発生は一部ほ場で多かった。

#### (2) 花きの病害虫（施設）

##### 花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### (3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

# 3 月月報(令和 3 年 4 月 13 日)

---

## 1 作物生育概況

### (1) 野菜

果 菜 類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）の生育は概ね順調であった。トンネル早熟栽培のトウモロコシの発芽は順調であった。

葉根菜類：気温が高めに推移したため、コマツナやホウレンソウの生育が早まった。コマツナでは抽苔が多かった。

## 2 病害虫の発生概況

### (1) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
---------	---------	-------------

### (2) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-------	---------	-------------

葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
------	---------	-------------

オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
-----------	-------	-----------

タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
----------	---------	-------------

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
---------	-------	-----------

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
---------	-------	-----------

アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
--------	---------	-------------

ホウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
---------	-------	-----------

アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
--------	---------	-------------

ネギ

ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
---------	-------	-----------

ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
---------	---------	-------------

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-------	---------	-------------

ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
------	---------	-------------

### (3) 島しょの病害虫

八丈島：アシタバでヨコバイ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。